

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ゴージョーMHS
会社名	ゴージョージャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル3F
電話番号	03-5280-4807
緊急時の電話番号	03-5280-4807
FAX番号	03-5280-4843
推奨用途及び使用上の制限	手指消毒剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

引火性液体および蒸気。強い眼刺激。

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
容器を密閉しておくこと。

蒸気を吸入しない。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

火花を発生させない工具を使用すること。

応急措置

火災の場合：消火には泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水噴霧を使用すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

吸引した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で急速させること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

重要な兆候

高濃度の蒸気には、麻酔効果があり、頭痛、疲労、めまい、吐き気を起こすことがある。眼及び粘膜の刺激。飲み込むと刺激や不快感を起こすことがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	CAS番号	官報公示番号		含有量(%)
		化審法	安衛法	
エタノール	64-17-5	(2)-202	(2)-202	70-80
イソプロパノール	67-63-0	(2)-207	(2)-207	<5

組成情報 ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

<p>4. 応急措置</p> <p>吸入した場合</p> <p>皮膚に付着した場合 目に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p> <p>最も重要な徴候及び症状</p> <p>応急措置をする者の保護</p> <p>医師に対する特別な注意事項</p>	<p>空気の新鮮な場所に移動する。不快感が起きた場合は医師の診察を受ける。</p> <p>区域の多量の水で洗うこと。刺激が起こった場合は医師の診察を受ける。もし洗った後も刺激が継続するようであれば医師の手当てを受ける。直ちに多量の水で15分間水洗いをする。コンタクトレンズをはずし、まぶたを広く開く。</p> <p>意識を失っていない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛乳または水を飲ませる。不快感が起きた場合は医師の診察を受けること。</p> <p>高濃度の蒸気には麻酔効果があり、頭痛、疲労、めまい、吐き気を起こすことがある。眼および粘膜の刺激。飲み込むと刺激や不快感を起こすことがある。</p> <p>火傷：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。</p> <p>息切れする場合は、酸素吸入をする。被害者を保温する。</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤</p> <p>使ってはならない消火剤</p> <p>火災時の特有な危険有害性 特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>泡、二酸化炭素または粉末消火剤で消火する。</p> <p>消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。</p> <p>溶剤の蒸気は空気と混合して爆発性の混合物を生成することがある。</p> <p>火災や爆発の場合、フェュームを吸入してはならない。消防士は、防火衣、フェースシールド付ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣を着用しなくてはならない。密閉された場所では、自給式呼吸器（SCBA）も使用する。危険を伴わずにできる場合には、容器を火災現場から移動させる。貨物保管区域の大規模な火災に対してはできれば無人のホース保持機または遠隔操作ノズルを使用する。もしそれができなければ避難して火が燃え尽きるまで待機する。火災を鎮火させるために使用した水が、川、下水、または飲料水供給源へ流入するのを防ぐ。</p> <p>火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。</p> <p>消火作業のための呼吸用保護具の選択：作業現場に示されている一般的な火災注意事項に従う。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具および緊急措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化方法・機材</p>	<p>SDSのセクション8で推奨されている個人用保護具を使用すること 十分な換気を確保する。すべての着火源を除去する（隣接領域での禁煙、裸火、火花スパークまたは火炎）。</p> <p>広範囲に広まるのを防ぐ（防止手段：隔離、オイル・バリアの使用等）。製品で水を汚染しない。排水溝/水系環境に漏出した場合は地域の行政当局に連絡する。</p> <p>着火源を除去する。危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。乾燥粘土、砂、けいそう土、商業用吸収剤などの不活性吸収剤を使って吸収するか、ポンプを使って回収する。廃棄物および汚染物は必ず回収し、適切なラベルを貼った容器に入れ、作業区域からなるべく早く移動する。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p> <p>技術的対策 局所排気・全体換気</p> <p>注意事項 安全取扱い注意事項</p> <p>保管</p>	<p>熱、火花および裸火およびその他の着火源から離して保管する。</p> <p>適切な換気を行う。蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。</p> <p>使用中は飲食や喫煙をしない。</p> <p>すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。</p>

技術的対策	元の容器に密閉し、乾燥し、涼しくて換気のよい場所に保管する。施錠して保管する。避けるべき物質の近くに保管しない。
適切な保管条件	熱、火花、裸火から離して保管する。換気の良い場所で保管すること。小児の手の届かないところに保管する。
混触禁止物質	アルカリ金属類。強酸化剤。
安全な容器包装材料	元の状態で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

作業環境評価基準

成分	タイプ	値
イソプロパノール (CAS 67-63-0)	管理濃度	200 ppm

日本産業衛生学会

成分	タイプ	値
イソプロパノール (CAS 67-63-0)	最大許容濃度	400 ppm 980 mg/m ³

ACGIH

成分	タイプ	値
イソプロパノール (CAS 67-63-0)	STEL	400 ppm 980 mg/m ³
エタノール (CAS 64-17-5)	TWA STEL	200 ppm 1000ppm

設備対策

適切な換気を行う。職業暴露限界値を守り、蒸気吸入のリスクを最小限に抑える。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合または蒸気を吸入するおそれがある場合は、適切な呼吸器保護具を使用する。

手の保護具

通常の使用条件下では、普通は保護を必要としない。

眼の保護具

保護眼鏡をかける。保護眼鏡（もし飛び散る可能性がある場合。）

皮膚及び身体への保護

通常の使用条件下では、普通は保護を必要としない。

適切な衛生対策

適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的な状態

ゲル状。

形状

ゲル状。

色

無色又は淡黄色。

臭い

アルコール様のにおい。

pH

6.3 - 8.7

融点・凝固点

データなし。

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし。

引火点

25.3 °C (77.5 °F) Pensky-Martensクローズドカップ法

燃焼又は爆発範囲 - 下限

データなし。

燃焼又は爆発範囲 - 上限

データなし。

蒸気圧

データなし。

蒸気密度

データなし。

比重

データなし。

溶解度

完全に溶解。

n-オクタノール/水分配係数

データなし。

分解温度

データなし。

かさ密度

854 kg/m³

粘度

3100 - 16000 mPa・s (25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

通常状態で安定。
危険な重合はおこらない。
熱、炎、火花。引火点を超える温度を避ける。
強酸化剤。アルカリ金属類。
二酸化炭素 (CO₂)。一酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性

エタノールは、大量だと代謝性アシドーシスおよびCNS抑制の原因となるアセトアルデヒドと酢酸に代謝される。高濃度の蒸気には麻酔効果があり、頭痛、疲労、めまい、吐き気を起すことがある。眼および粘膜の刺激。

成分	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)	急性 吸入 LC50 ラット：20000 mg/L 10時間 急性 経口 LD50 ラット：7060 mg/kg
イソプロパノール (CAS 67-63-0)	急性 吸入 LC50 ラット：72.6 mg/L 4時間 急性 経口 LD50 ラット：4396 mg/kg 急性 経皮 LD50 ウサギ：12800 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	通常の使用では皮膚への刺激性はないと考えられる。
呼吸器感作性	データなし。
皮膚感作性	皮膚に対する感作性はない。
生殖細胞変異原性	21日間累積刺激性試験：平均スコア=0.19 (スケール0-4)。
発がん性	製品に関する試験データはない。
ACGIH発がん性物質	本生成物には発がん性に関するデータはない。
イソプロパノール (CAS 67-63-0)	A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
エタノール (CAS 64-17-5)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)
IARC発がん性評価モノグラフ	
エタノール (CAS 64-17-5)	1 ヒトに対して発がん性がある。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
その他の情報	知見なし

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	試験結果
イソプロパノール (CAS 67-63-0)	EC50 オオミジンコ：13299 mg/L 48時間 LC50 ファットヘッドミノウ (ピメンファレスプロメラス)：11130 mg/L 96 時間 LC50 ブルーギル (レポミス・マクロキルス)：>1400 mg/L 96 時間
生態毒性	この製品は、水生生物に対して有害であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼす可能性がある物質を含有している。
残留性/分解性	この製品は速やかに生分解される。
生体蓄積性	本製品は生物蓄積されるとは予想されない。
土壌中の移動性	この製品は水溶性で、水系に拡散することがある。
他の有害影響	この製品は、光化学オゾンを生産する可能性のある揮発性有機化合物を含有している。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

空の容器には製品の残留物が残っているため、容器が空になってもラベルの警告に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

Basic shipping requirements:

UN number	UN1170
UN proper shipping name	Ethanol solution
Hazard class	3
Packing group	II
Labels required	3

Additional information

Packaging exceptions	150
Packaging non bulk	202
Packaging bulk	242

IMDG

Basic shipping requirements:

UN number	UN1170
Proper shipping name	Ethanol solution
Hazard class	3
Packing group	II
Labels required	3

Additional information

Packaging exceptions	150
----------------------	-----

国内規制

国内規制については15章の規則に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

エタノール

イソプロパノール

表示対象物

イソプロパノール

毒物及び劇物取締法

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

該当せず。

消防法

危険物第4類、アルコール類、危険等級II、水溶性

船舶安全法・危規則

引火性液体類

航空法・施行規則

引火性液体類

火薬類取締法

該当せず。

高压ガス保安法

該当せず。

海洋汚染防止法

エタノール

Z類

イソプロパノール

Z類

16. その他の情報

ここに提示する情報は、記載した日付の時点において弊社の知識のおよぶ限りの、なおかつ供給したままの状態の製品のみに関する安全性についての十分な概要を提供するための情報です。提示されている全てのデータは、製品特性を決して保証するものではありません。